

令和7年度 事業報告

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

I 公益目的事業の実施

1 教職員に関する研修等の実施

(1) 教員等研修会の開催

年間研修テーマ 一人ひとりの「こどもがまんなか」をまもる 質の高い幼児教育を
～社会全体でつむぎ未来へつなぐために～

ア 新任教員研修会（新任教員対象）

- 第1回 7年 4月 2日：ホテル福島グリーンパレス
- 第2回 7年 5月20日：オンライン
- 第3回① 7年 6月 9日：オンライン
- 第3回② 7年 6月23日：オンライン
- 第4回 7年 7月22日・23日：ホテル福島グリーンパレス
- 第5回 7年 8月19日：ホテル福島グリーンパレス
- 第6回 7年 8月27日：オンライン
- 第7回 7年 9月30日：オンライン
- 第8回 7年10月31日：オンライン
- 第9回① 7年11月11日：オンライン
- 第9回② 7年11月27日：オンライン
- 第10回 7年12月24日・25日：郡山女子大学

イ キャリアアップ（中堅・主任教員対象）

- 第1回① 7年 6月 2日：オンライン
- 第1回② 7年 7月 7日：オンライン
- 第2回① 7年 8月27日：オンライン
- 第2回② 7年 8月28日：オンライン
- 第3回 7年 9月12日：オンライン
- 第4回 7年10月 8日：オンライン
- 第5回 7年12月25日：郡山女子大学

ウ 特別研修（園長・主任・ミドルリーダー対象：キャリアアップ）

- 第1回 7年 5月16日：オンライン
- 第2回 7年 7月16日：オンライン
- 第3回 7年12月 4日：オンライン

エ 教員研修大会

7年 8月 9日 第13回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（会津大会）

2 私立幼稚園・認定こども園の教育振興に資する調査研究事業の実施

(1) 経営実態の調査分析

- ① 福島県私立幼稚園等実態調査（令和7年8月）
- ② 幼児教育に関する各市町村の実態調査（令和8年1月）

(2) 福島県私立幼稚園・認定こども園白書の作成（令和8年3月）

データ化：県内各市町村、県内私立幼稚園等、関係団体等に配付
白書概要：連合会の活動状況、各市町村の振興対策事例と現状、
福島県私立幼稚園等の財務状況、子ども・子育て支援新制度についてなど

3 私立幼稚園等教育振興事業助成事業の実施

- (1) 教育振興事業助成（教職員人件費、教育研究経費、管理経費、預かり保育、子育て支援活動等についての助成）；休止（助成先：非学校法人立幼稚園のため該当なし）

4 私立幼稚園等復興対策支援等事業の実施

- (1) 復興対策支援（園児の教育環境確保等に向けた支援の実施）：休止
- (2) 災害対策基金事業（災害発生時の支援を目的に義援金等を財源に災害対策基金を設置）
令和7年度 災害対策基金積立額（100千円）

5 各委員会等の開催状況

(1) 総務広報委員会

ア 組織

委員長 齋藤 悟
担当正副理事長 辻 正弥
委員 ○宮澤公大・細谷 實・大嶋あゆみ・鈴木愛子・掛田昌克・
渡部利智子・新妻英昭・吉田 富・安川 徹
(○は副委員長 以下同じ)

イ 委員会の開催

【第1回】令和7年 7月25日（福島市・福島テルサ）

- (1) 副委員長の選出について
- (2) 令和7年度事業計画の確認について
- (3) その他

【第2回】令和7年10月 3日（オンライン）

- (1) 方部の状況について
- (2) 「令和7年度加盟園実態調査アンケート」について
- (3) 「MIRAI ENJIN」について
- (4) 「福島県私立幼稚園・認定こども園白書」について
- (5) その他

【第3回】令和7年12月12日（オンライン）

- (1) 白書の方向性
- (2) 県内養成校（6校）の現状について
- (3) その他

ウ 主な事業

(1) 就職セミナー

7年 5月11日	郡山女子大学短期大学部	70名参加（対面）
7年 7月28日	桜の聖母短期大学	60名参加（対面）
7年10月 9日	いわき短期大学	100名参加（対面）
7年11月12日	福島大学	20名参加（対面）
7年11月29日	福島学院大学、短期大学部	90名参加（対面）

(2) 7年11月、8年3月 県内養成校に対するアンケートの実施

8年 2月 私学助成園に対するアンケートの実施

(3) 8年 3月 私立幼稚園・認定こども園白書 発行

エ 事業内容及び評価

園児減による会費の減少に伴い、白書の見直しを実施しました。データと紙媒体に分け、白書事体をスリム化しました。また、インスタグラム MIRAI ENJIN も計画的にアップすることで私立幼稚園・認定こども園の教育をしっかりと伝えています。

幼稚園教諭・保育教諭の採用状況について県内の養成校へアンケート調査を実施することで、教諭や保育士を希望する学生の現状や県内の施設への採用状況を把握し、可視化した情報を、福島県等へ提供しました。隣の栃木県の養成校では、2つの学校の学科が幼稚園教諭・保育士の募集停止をしている状況であることから、福島県においてもいつ募集停止となってもおかしくないため、現状を県に伝えていくことが必要です。

(2) 振興政策委員会

ア 組織

委員長 高橋 司
担当正副理事長 志賀 達生
委員 ○齋藤幹夫・佐々木篤行・海老名智子・阿部八重子・降矢和敏・
齋藤 愛・神林聡子・中野育正・小名川祐輝・楠 正継

イ 委員会の開催

【第1回】令和7年 7月25日（福島市・福島テルサ）

- （1）副委員長の選出について
- （2）令和7年度事業計画の確認について
- （3）その他

【第2回】令和8年 2月12日（オンライン）

- （1）令和8年度の事業計画について
- （2）その他

ウ 主な事業

- （1）7年 7月24日：自民党福島県連との懇談会資料作成（幼児教育振興連盟）
- （2）7年 9月 9日：福島県議会各種団体要望聴取会 要望内容作成
- （3）7年11月17日：福島県私学振興大会要望事項の作成
- （4）7年12月 4日：令和8年度政府予算対策要望活動 要望内容作成
- （5）8年 1月 : 県内市町村 幼児教育に関する調査の実施

エ 事業内容及び評価

令和7年度の振興政策委員会は、県政・国政・私学団体との連携を通じて、幼児教育分野の政策的存在感を高める一年となりました。自民党県連との懇談会資料作成、県議会要望聴取会への提出、私学振興大会要望事項の作成、政府予算対策要望活動など、多層的な政策提案を継続的に実施し、現場の課題を政治・行政への確に伝えることができました。また、県内市町村を対象とした幼児教育に関する調査を実施し、地域差や課題構造を明らかにしたことは、今後の政策形成に資する重要な成果です。これまで連合会全体の取り組みにより、議会や政党関係者の理解が進み、教職員の処遇改善、施設老朽化対策、園児数減少地域への支援など、現場の課題が政策議論として取り上げられる機会が増加しました。一方で、財政制約下における要望項目の優先順位づけ、国レベルの制度改正につなげるためのエビデンス蓄積、市町村調査の継続的な実施体制の構築など、今後に向けた課題も明確となりました。次年度は、市町村調査の定期化によるデータの充実、要望内容の重点化、国・県・市町村への働きかけの整理が求められます。加えて、教職員確保に関する独自提案や園児数減少地域の支援モデルの検討を進め、幼児教育の質向上と持続可能な運営体制の確立に向け、委員会として引き続き政策形成に寄与していきます。

(3) 教育研究・研修委員会

ア 組織

委員長 賀門 康博
担当正副理事長 楠 正興
委員 関 章 信・○舟山千賀子・○佐藤智彦・前田 牧子・阿部 智 皓・
川 名 秀 典・安藤はるか・飯澤久美子・大庭 一 晃・佐藤佳奈子・
宗 像 由 紀・羽 鳥 美 沙・秋 葉 拓 郎・長谷川翔平・坪 有 加・
齋 藤 紀 子・山 地 勝・荒 崇 志

イ 委員会の開催

【第1回】令和7年 5月21日（福島市・ホテル福島グリーンパレス）

- (1) 自己紹介
- (2) 委員会の仕事内容などの説明について
- (3) 令和7年度研修計画について
- (4) 第13回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（会津大会）について
- (5) 教育研究・研修委員会アンケートについて
- (6) その他

【第2回】令和7年 7月 2日（オンライン）

- (1) 第13回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（会津大会）について
- (2) 7月以降の研修会について
- (3) その他

【第3回】令和7年 8月 8日（会津若松市・会津若松ワシントンホテル）

委嘱状交付

- (1) 第13回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（会津大会）の最終確認について
- (2) 秋以降の研修について
- (3) その他

【第4回】令和7年11月14日（福島市・福島テルサ）

- (1) 11・12月の各研修会について
- (2) 令和8・9年度研究課題について
- (3) 次年度の各研修について
- (4) 第13回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（会津大会）の振り返り
- (5) 第14回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（県北・相双大会）について

【第5回】令和8年 2月26日（オンライン）

- (1) 新年度の研修について
- (2) 第14回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（県北・相双大会）の content と分担について
- (3) その他

ウ 主な事業

- (1) 各種研修会の実施（参照：※令和7年度教員等研修会実施内容）
- (2) 7年 8月29日 全日私幼連東北地区教育研究担当者連絡会議協議会
- (3) 8年 1月27日 全国教育研究担当者会議（東京）
- (4) 8年 2月17日 福島県幼稚園等新規採用教員研修運営協議会（福島市）
 - 「保護者向けアンケート」の作成・分析
 - 令和7年度福島県私立幼稚園・認定こども園教育研究奨励賞審査

エ 事業内容及び評価

(1) 研修運営全般について

令和7年度の研修運営全般におきましては、「受講者の負担軽減」および「研修委員会の運営負担軽減」の両立を重視し、各研修を計画いたしました。

- **受講者の負担軽減と成果** 各園における研修派遣の調整を円滑にするため、中堅・主任研修の大半をオンライン形式といたしました。新任研修についてもオンラインの割合を増やし、1回あたりの時間を短縮することで参加のハードルを下げ、資質向上に繋がるよう工夫いたしました。その結果、特に中堅・主任研修において参加者数の増加が見られるなど、一定の成果を得ることができました。
- **運営側の状況と今後の課題** 委員会運営においても、移動負担の軽減などオンライン化による効果が確認されました。一方で、開催回数の増加に伴い準備業務が過密化したことや、オンラインゆえの連携の難しさから、特に新規委員に戸惑いが見られる場面もありました。また、受講者が内容を選んで参加する傾向が強まり、研修体系を俯瞰的に構成した委員会の意図が十分に伝わりきらなかった点は、次年度への反省材料としたいと考えております。
- **新任者研修の対応** 新任宿泊研修については、経費と参加負担を考慮し昨年に見送りましたが、その代替として3日分を6月・7月に分散して実施し、新任者研修に必要な45時間を確保いたしました。

(2) 教員研修大会について

会津方部で開催された県大会は、方部実行委員会の多大なるご尽力により、全体会（記念講演）および各分科会を対面方式で無事に完遂することができました。

- **分科会の成果** 分科会では昨年度に引き続きポスター発表を実施し、総勢約500名の参加を得ることができました。対面ならではの活発な研鑽が行われ、非常に有意義な学びの機会となりました。
- **記念講演について** 汐見先生による講演では、子どもたちへの深い慈しみと保育者への温かなメッセージを強く感じることができ、今後の幼児教育・保育の指針となる貴重な示唆をいただきました。運営上の諸課題を解決し、開催に漕ぎ着けた実行委員および関係教職員の皆様に深く感謝申し上げます。

(3) その他

1. **リモート形式の検討** リモート研修による参加の門戸拡大には一定の効果がありましたが、実施側の負担増も課題となりました。今後は対面形式とのバランスを再考し、最適な研修形態を計画してまいります。
2. **「研修俯瞰図」の活用と次年度の視点** 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構による「研修俯瞰図」のアップデートに伴い、次年度は以下の3つの視点を柱とした研修計画を策定いたします。
 - ①「一人の主体者」としてのこども理解と人権の尊重
 - ②様性を認め合い、共に育ち合うインクルーシブな環境づくり
 - ③保育者のウェルビーイングと同僚性による質の向上 これらの視点を踏まえ、保育者が自身のキャリアを俯瞰できるような啓発活動にも努めてまいります。
3. **ECEQ®（公開保育を活用した幼児教育の質向上システム）の推進** 昨年度は「学校法人白梅認定こども園北会津こどもの村幼保園」のご協力により実施することができました。依然として認知度の向上が課題ではありますが、機構がECEQ®を第三者評価として確立させるべく注力している現状を踏まえ、本委員会としてもコーディネーターの育成および実施園の拡大に向けた普及啓発に継続して取り組んでまいります。
4. **各方部等研修との連携** キャリアアップ研修の対象化を含め、各方部・各市等の研修との連携が着実に広がっております。各方部等の実施故に対面形式参加のハードルがあることも確かですが、各方部等の特色のある研修が広く広がり、県全体での質向上に寄与できる連携の在り方を模索してまいります。

(4) 経営研究委員会

ア 組織

委員長 遠藤弘道
担当正副理事長 木村恵美子
委員 ○関 広樹・和泉田まさみ・本田由美・板垣 恵・杉内みすず・
鈴木則子・首藤厚子・山口 仁・藤田慈孝・上嶋啓子・
橋本 駿・船生長久・星 行夫

イ 委員会の開催

【第1回】令和7年 7月25日（福島市・福島テルサ）

- (1) 副委員長の選出について
- (2) 令和7年度事業計画の確認について
- (3) その他

【第2回】令和8年 1月27日（オンライン）

- (1) 2月18日国会議員との懇談会について
- (2) 第14回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（県北・相双大会）第6分科会経営研究委員会担当について
- (3) 9月後継者研修視察について
- (4) 令和8年度の事業計画について
- (5) その他

ウ 主な事業

- (1) 7年 8月 9日 第13回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（会津大会）第6分科会担当
- (2) 8年 2月18日 後継者合同研修会（東京・参議院議員会館）

エ 事業内容及び評価

1. 委員会の開催について

今年度、当委員会におきましては計2回の会議を開催し、運営方針および重点的に取り組むべき活動項目について協議を重ねてまいりました。第1回委員会では、少子化の加速という厳しい経営環境の中で、各園が持続可能な経営を維持するために、当委員会としてどのような支援や情報発信ができるのか、その役割を改めて見つめ直し、中長期的な視点から活発な意見交換を行いました。また、令和8年1月27日にオンライン（Zoom）にて開催いたしました第2回委員会では、夏季に実施した研修大会の成果と課題を振り返るとともに、国会議員の方々との懇談会や次年度に向けた活動の継続性について委員で共通の認識を持つことができました。

2. 福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会 第6分科会の運営

令和7年8月9日に開催されました教員研修大会におきまして、当委員会は第6分科会の運営を担当させていただきました。「持続可能な園経営 ～教職員が育ち定着するマネジメント～」というテーマを掲げ、講師に社会保険労務士法人人財総研の安岡知子先生をお招きし、人材の育成と定着に焦点を当てた研修を実施いたしました。研修を通じ、経営の価値観が「量から質」へと転換する中で、魅力ある園づくりを進めるためには、現場を支える保育者の皆様の働き方や育成が何よりも肝要であることを再認識いたしました。具体的には、園長による丁寧なフィードバックや信頼関係の構築といったマネジメントが、教職員の定着に直結することを学びました。また、事例紹介を交えた試行錯誤のプロセスは、参加者の皆様にとっても、自園の経営と育成の在り方を改めて省みる貴重な機会とな

ったのではないかと存じます。

3. 国の予算案説明会および国会議員との懇談会を通じた勉強会の開催

令和8年2月18日、参議院議員会館にて行われました後継者合同研修会（「令和8年度予算案説明会」および「福島県選出の自由民主党国会議員との意見交換会」）を実施いたしました。説明会におきましては、文部科学省およびこども家庭庁より、次年度の重点施策である人材確保のための人材バンク創設や処遇改善、また「こども誰でも通園制度」の本格実施に向けた最新の動向について直接お話を伺ってまいりました。続く意見交換会では、福島県選出の国会議員の皆様に対し、現場が直面している切実な実情をお伝えさせていただきました。特に新たに示された「園児30人に対し教諭1名」という配置基準については、人材確保が極めて困難な現状をアンケート結果に基づき報告し、拙速な基準厳格化に対する懸念をお伝えいたしました。また、施設整備補助についても、老朽化・防犯対策の重要性に加え、遊戯室へのエアコン設置など、教育現場の実情に即した柔軟な基準改善を強く要望してまいりました。

4. 総括

今年度の経営研究委員会の活動を振り返りますと、幼児教育・保育を取り巻く環境が激変する中、各園が質の高い教育・保育を継続できるよう「経営の指針」を探り、また「現場の切実な声」を国政に届けることに微力ながら尽力した一年でございました。研修活動を通じたマネジメント力の向上支援と、データに基づいた政策提言という両輪の活動を通じ、改めて私立幼稚園・認定こども園の存在意義を深く再認識するに至りました。未曾有の少子化という深刻な課題は依然として続いておりますが、当委員会での学びと皆様との連帯を糧に、今後も各園が自信を持って未来を担う子どもたちの育ちを支えていけるよう、経営基盤の強化に向けた活動に誠心誠意取り組んでまいり所存です。

(5) こども園委員会

ア 組織

委員長	平栗光弘
担当正副理事長	平栗光弘
委員	○塩谷 元・○吉田 誠・海老原 嗣・齋藤正博・片平友紀・ 遠藤道代・立石ひとみ・渡部直樹・根本克行・生駒順子・ 吉田 元・鎌田文代

イ 委員会の開催

【第1回】令和7年 7月25日（福島市・福島テルサ）

- (1) 副委員長の選出について
- (2) 令和7年度事業計画の確認について
- (3) その他

【第2回】令和8年 2月20日（オンライン）

- (1) 「私立幼稚園・認定こども園の課題について」アンケート結果について
- (2) 令和8年度の事業計画について

ウ 主な事業

- (1) 8年 1月 私立幼稚園・認定こども園の課題について（アンケート実施）
- (2) 8年 2月18日 後継者合同研修会（東京・参議院議員会館）

エ 事業内容及び評価

令和7年度は、子ども子育て支援新制度がスタートしてから10年の節目にあたり、処遇改善加算の一本化など大幅な制度の改正が行われたことに伴い、各市町村の対応や

新制度の課題など6項目にわたり第1回アンケートを実施させていただき、各方部の皆さんからはご多忙の中、貴重なご意見を多数いただきました。

この内容を9月2日に行われました自民党福島県議会議員との意見交換会の中で、私学助成園の要望と合わせて新制度園の問題・課題等の説明をさせていただきました。

また1月には、福島県選出の国会議員の皆さんとの懇談会が参議院議員会館での開催が決まり、開催までの時間があまりなかったことから、理事の皆さんから第2回アンケートを取らせていただきました。アンケートの内容は市町村との関係や少子化の影響、教諭確保状況、人材派遣を利用した採用及び経費など、福島県内の園が抱えている切実な現状を2月18日の後継者合同研修会で国会議員の皆さんにお伝えさせていただきました。

令和7年度は、2回にわたりアンケート調査ができたことは良かったと思っていますが、各委員会からのアンケートとも重なり、皆様におかれましてはたいへんだったことと思います。

こども園委員会の活動の評価につきましてはいろいろなご意見があると承知しているところですが、皆様からのアンケート結果から、子ども子育て支援新制度が、子どものために作られてきたのか等、この制度そのものの課題を感じているところです。これからは、あるべき姿として子どもたちのためになっている制度なのか、また、少子化の進行が止まらない状況下での、持続可能な園運営の在り方ができるのか等、こども園委員会として新しい視点のもとで問題提起をしていくことが重要であることを再認識したところです。さらに、この1年を通じ皆さんの意見を県政や国政の場に届けていくことの重要性を感じた年でもありました。

(6) 「未来への幸福ナビ PROJECT」 特別部会

ア 組織

部会長 宮澤公大

部会員 ○齋藤秀人・○掛田昌克・高宮暢昭・楠正興・細谷 實・
平栗光弘・齋藤 悟・高橋 司・賀門康博・遠藤弘道・
中野育正・長谷川翔平・佐藤智彦・海老原 嗣・安川 徹・

イ 部会の開催

【第1回】令和7年 5月16日（福島市・ホテル福島グリーンパレス）

- (1) 令和7年度SNS運營業務委託契約について
- (2) 広告媒体を利用した戦略的な認知活動について
- (3) 現在までの確認事項

【第2回】令和7年 9月25日（オンライン）

- (1) 現在の活動状況について
- (2) インスタコンテンツについて
- (3) その他

ウ 主な事業

- (1) インスタグラムの更新

エ 事業内容及び評価

- (1) 年間60本のリール動画をInstagramに投稿しました。園の先生、保護者へのインタビュー、さらには園児さんへのインタビューやその様子も盛り込み、コンテンツを充実することができました。また、連合会ホームページの保護者向け特別寄稿、コラムを連載しました。
- (2) 放送局3社からテレビCMを放送。今後内容広告媒介の精査が課題です。
- (3) 連合会ホームページの保護者向けコンテンツが今後の課題です。

Ⅱ 労働保険事務組合事業

事業内容：労働保険事務組合として当法人加盟の園から委託を受け行っている労働保険事務
：休止（令和7年度受託園なし）

Ⅲ 法人事業関係

1 総会の開催

定時社員総会

日 時 令和7年 6月 6日 14:30～
場 所 ホテル福島グリーンパレス（福島市）
出席会員 114名（委任状提出会員78名含む。）
議 題

- （1）令和6年度事業報告について
- （2）令和6年度決算の承認について（議案第1号）
監査報告
- （3）令和7年度予算の補正について（議案第2号）
- （4）理事28名選任の件について（議案第3号）
- （5）監事3名選任の件について（議案第4号）

社員総会

日 時 令和8年 3月25日 13:30～
場 所 ホテル福島グリーンパレス（福島市）
出席会員 100名（委任状提出会員76名含む。）
議 題

- （1）令和8年度事業計画（案）の承認について（議案第2号）
- （2）令和8年度予算（案）、資金調達及び設備投資の見込みの承認について（議案第2号）

2 理事会の開催

第1回

日 時 令和7年 5月16日
場 所 ホテル福島グリーンパレス（福島市）
出席理事 16名 出席監事 0名
〔決議事項〕

- （1）教育功労表彰受賞候補者（案）について（議案第1号）
- （2）令和6年度事業報告の承認について（議案第2号）
- （3）令和6年度決算の承認について（議案第3号）
監査報告
- （4）令和7年度予算の補正について（議案第4号）
- （5）理事選任候補者（案）の承認について（議案第5号）
- （6）監事選任候補者（案）の承認について（議案第6号）
- （7）定時社員総会招集及び提出議案等について（議案第7号）

第2回

日 時 令和7年 6月 6日
場 所 ホテル福島グリーンパレス（福島市）
出席理事 21名 出席監事 2名

〔決議事項〕

- (1) 理事長、副理事長及び常任理事の選定について（議案第1号）
- (2) 各委員会委員長及び委員の選定について（議案第2号）

第3回

日 時 令和7年 6月30日 14:00～

場 所 (オンライン)

出席理事 24名 出席監事 1名

〔決議事項〕

- (1) 令和7年度永年勤続表彰（案）について（議案第1号）
- (2) 令和7年度福島県私立幼稚園・認定こども園教育研究奨励賞（案）について（議案第2号）

第4回

日 時 令和7年11月 6日 14:00～

場 所 (オンライン)

出席理事 18名 出席監事 2名

〔報告事項〕

- (1) 職務執行状況の報告について

〔決議事項〕

- (1) 新会員（賛助会員）の入会承認について（議案第1号）

第5回

日 時 令和8年 2月 4日 14:00～

場 所 (オンライン)

出席理事 21名 出席監事 2名

〔決議事項〕

- (1) 新会員（賛助会員）の入会承認について（議案第1号）

第6回

日 時 令和8年 3月 6日 13:30～

場 所 ホテル福島グリーンパレス（福島市）

出席理事 19名 出席監事 1名

議 題

〔報告事項〕

- (1) 職務執行状況の報告について

〔決議事項〕

- (1) 令和8年度事業計画（案）について（議案第1号）
- (2) 令和8年度予算（案）について（議案第2号）
- (3) 社員総会招集及び提出議案について（議案第3号）
- (4) 教員研修大会のローテーションについて（議案第4号）
- (5) 新会員（賛助会員）について（議案第5号）
- (6) 文部科学省「令和8年度幼児教育の学び強化事業」について（議案第6号）

3 正副理事長会議の開催

第1回（ 4月21日）令和7年度第1回理事会について ほか

第2回（ 9月 2日）令和8年度第33回全日本私立幼稚園連合会東北地区設置者・園長研修会（福島大会）について ほか

第3回（10月22日）令和7年度第4回理事会について ほか

第4回（ 1月20日）令和7年度第5回理事会について ほか

※ 令和7年度 教員研修実施内容

年間研修テーマ 一人ひとりの「こどもがまんなか」をまもる 質の高い幼児教育を
～社会全体でつむぎ未来へつなぐために～

研修会名		開催日・場所	参加人数	テーマ	講師名
新任教員研修会	第1回	令和7年 4月 2日 ホテル福島 グリーンパレス	42名	研修① 子ども理解～子どもの成長に携わる喜びを感じよう～ 研修② ここからスタート！新任研修～はじめの“いっぽ”～	いわき短期大学附属幼稚園 園長 齋藤紀子 郡山女子大学附属幼稚園 園長、(公社)福島県私立幼稚園・認定こども園 連合会教育研究・研修委員長 賀門康博
	第2回	令和7年 5月20日 オンライン【ZOOM】	49名	子どもとのかかわり方や言葉かけについて学ぼう	郡山女子大学短期大学部 講師 佐々木郁子
	第3回	令和7年 6月 9日 オンライン【ZOOM】	37名	研修① 乳幼児保育—0～2歳児の発達と保育者のかかわりについて考える	鶴見大学短期大学部 教授 天野珠路
		令和7年 6月27日 オンライン【ZOOM】	32名	研修② 保育現場における防災教育について考える	
	第4回	令和7年 7月22日 23日 ホテル福島 グリーンパレス	36名	研修① 保育原理～保育の歴史や思想を知る～ 研修② 幼児体育～身体を動かす楽しさを学ぼう！！ 研修③④ 造形表現～つくる楽しさ、喜びを感じ合おう～	いわき短期大学 講師 酒井啓亮 ピース体操教室 小林祐貴 尚絅学院大学 教授 相馬 亮
	第5回	令和7年 8月19日 ホテル福島 グリーンパレス	33名	研修① 子どもの生命を守る救命救急について 研修② 保育記録～計画・記録・振り返りと評価について考える～	福島消防署 鶴見大学短期大学部 教授 天野珠路
	第6回	令和7年 8月27日 オンライン【ZOOM】	38名	幼児期の発達と環境構成について考える	いわき短期大学 講師 酒井啓亮
	第7回	令和7年 9月30日 オンライン【ZOOM】	33名	幼児保健について	医療法人社団鉄医会附属研究所 所長 高橋謙造

研修会名		開催日・場所	参加人数	テーマ	講師名
新任教員研修会	第8回	令和7年10月31日 オンライン【ZOOM】	33名	安全管理とリスクの考え方	公益財団法人ときわ会常磐 病院医療安全管理部副部長 薬剤師 仲本広世
	第9回	令和7年11月11日 オンライン【ZOOM】	29名	気になる子どもの見立て（理論編）	東北福祉大学 講師 柴田理瑛
		令和7年11月27日 オンライン【ZOOM】	30名	自園の保育理解と保育実践について考える	郡山女子大学附属幼稚園 園長、（公社）福島県私立 幼稚園・認定こども園連合 会教育研究・研修委員長 賀門康博
	第10回	令和7年12月24日 25日 郡山女子大学	30名	研修① 気になる子どもへの対応（実践編）	東北福祉大学 講師 柴田理瑛
				研修② 子どもの豊かな感性と表現力を伸ばすリトミック	福島ルンビニー幼稚園 園長 堀内恵理子
				研修③ 乳～幼児向けの音楽活動（あそび）	仙台青葉学院短期大学 講師 田宮希砂
キャリアアップ研修（中堅・主任）	第1回	令和7年 6月 2日 オンライン【ZOOM】	41名	分野2 保育における遊びの“おもしろさ”その1	相模女子大学 教授 宇田川久美子
		令和7年 6月 2日 オンライン【ZOOM】	36名	分野2 保育における遊びの“おもしろさ”その2	
	第2回	令和7年 8月27日 オンライン【ZOOM】	18名	分野1 乳児保育～月齢ごとの発達と遊びの見取りについて①	福島学院大学短期大学部 准教授 鈴木智子
		令和7年 8月27日 オンライン【ZOOM】	20名	分野1 乳児保育～月齢ごとの発達と遊びの見取りについて②	
	第3回	令和7年 9月12日 オンライン【ZOOM】	37名	分野6 保育現場での困りごと①～支援につながるケース検討～	常磐大学 助教 海老名悠希
	第4回	令和7年10月 8日 オンライン【ZOOM】	37名	分野6 保育現場での困りごと②～支援につながるケース検討～	常磐大学 助教 海老名悠希

	第5回	令和7年12月25日 郡山女子大学	48名	分野1 子どもが主体に楽しむ造形表現	尚絅学院大学 教授 相馬 亮
--	-----	----------------------	-----	-----------------------	-------------------

研修会名		開催日・場所	参加人数	内容	講師名
特別研修	第1回	令和7年 5月16日 オンライン【ZOOM】	65名	分野1 人を育てる、園を育てる園内 研修～小さな事の積み重ね	玉川大学 教授 田澤里喜
	第2回	令和7年 7月16日 オンライン【ZOOM】	41名	分野2 実践から考える園づくり・マ ネジメント	玉川大学 教授 田澤里喜
	第3回	令和7年12月 4日 オンライン【ZOOM】	17名	分野2 環境を通して行う教育～保育 の本質・園の方向性～	鳴門教育大学大学院 教授 佐々木 晃

研修会名	開催日・場所	参加人数	内容	
第13回 教員研修大会（会津大会）	令和7年 8月 9日 会津若松ワシントンホテル ほか	501名	①愛されて育つ子ども ②子どもや同僚と共に育つ 保育者【若手教員向け】 ③子ども理解～「子ども理 解」と「保育のつながり」 を考える～ ④保育の理論と計画・実 践、評価・改善 「ポスター発表」 ⑤子どもが育つ家庭や地域 ⑥【設置者園長研修会】 持続可能な園経営～教職員 が育ちマネジメント～ 【記念講演】 「未来を担く子どもたちの 幼児教育とは何か・・・」	玉川大学 教育学部 乳幼児 発達学科 教授 岩田恵子 戸山幼稚園顧問 （公財）幼少年教育研究所 長 所員 小林愛子 前帝京短期大学こども教育 学科教授 高橋かほる 桜の聖母短期大学 福祉こど も専攻 こども保育コース 教授 狩野奈緒子 聖徳大学大学院教職研究科 教育学部児童学科教授/幼稚 園教員養成コース 主任 河合優子 社会保険労務士法人人財総 研/園のコンサルタント 特定社会保険労務士 安岡知子 （一社）家族・保育デザイ ン研究所 所長 汐見稔幸